

本読みワークショップ 他者の語りを歩く

西原珉 コンセプトシート
他者の物語からなる脚本を
読みあわせするワークショップ



- ・ナラティブセラピー
narrative therapy
- ・ロゴセラピー
logotherapy



- ・個人の歴史
物語=生きる意味
- ・集団
地域、コミュニティ
の歴史

物語

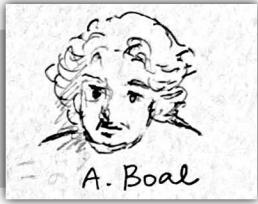


身体

存ること→共に存ること
存在→共同体と帰属
孤→相対する

WSは語り、声や身振りからなる身体、
その双方の表現をを重視します。
他者の物語を自らの身体を持って語り直すこと、
他者の痛みを自らの声であげること。

- ・シアターフォーラム
- ・被抑圧者の演劇



声をあげること

演じる

- ・表現
- ・感情経験
- ・異化

- drama therapy
- ・トラウマとの和解
 - ・コミュニティトラウマ
の研究

「本読みワークショップ：他者の語り
を歩く」はドラマセラピーがコミュニ
ティトラウマの緩和に用いられている
ことから得たセラピューティックなア
プローチを基礎として、被抑圧者の演
劇等の知見を学びつつ、参加者にコミ
ュニティへのつながりと参加を促す機
会をつくり出します。演じること、身
体があること、物語が語られる
こと、が循環しながら個人と集団の回
復を目指します。